

(受理番号) 6-4	(受理年月日) 令和6年2月13日
	陳 情
件 名	香川県ホームページに掲載されている民間団体の野菜販売について
要 旨	<p>香川県ホームページで〇〇（団体名）という団体が紹介されている。農林水産省ホームページによると、この団体は自ら農耕を行うとともに、近隣の高齢農家が栽培した野菜の代理販売も行い、生活支援の一役を担っているという。まことに美談である。しかし、〇〇（団体名）は、野菜の代理販売を行う際に「これは代理販売です。この野菜は我々が作ったものではありません」と断っているであろうか？自家製野菜と他家製野菜を区別せず売り「これらはすべて我々が作った野菜です」というように説明しているならば、消費者に対し不誠実である。（“我々”に近隣農家が含まれているとでも？）香川県健康福祉部に、上記の点を調査するよう命じていただきたい。〇〇（団体名）は自家製野菜と他家製野菜を区別して売っているか？</p> <p>また、〇〇（団体名）が現在野菜を作っているか否かという点も調査させていただきたい。わずか1年で終わった元気米プロジェクトの例から考えて、〇〇（団体名）が農業に熱意を持っているとは考えにくい。〇〇（団体名）はまだ野菜を栽培しているであろうか？県民としてぜひ知りたい（栽培しているとしても、それは、採算が合わない演劇的なものでは）。</p> <p>もうひとつ。〇〇（団体名）に顧問をつけていただきたい。四国新聞の記事（インターネット上で閲覧可能）によると、〇〇（団体名）代表は高校卒業後造船所に就職。1年で退職し、その後大学を経て教師となっている。学校の外で働いた経験が1年しかないのである（しかもそれは1960年代のこと）。これでは、社会復帰を支援するにしても限界があるだろう。企業や官庁で長く働いた人を顧問とし、その顧問を通して〇〇（団体名）代表に助言を与えていただきたい。助言が必要な場面は多いであろう。</p> <p>蛇足だが、農林水産省ホームページの資料は〇〇（団体名）が法人化の準備を行っている」と述べている。その資料が発表されたのは平成25年。平成25年の段階で準備していたのに、令和5年になってもまだ法人化されていなかったのである（去年〇〇（団体名）が発表した求人票を想起してもらいたい）。〇〇（団体名）は法人化を断念（いや、忘却？）したのであるだろうか。興味深いところである。</p>